

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

## 「主体的・対話的で深い学び」を通して



### 令和元年度2学期終業式

### 12月23日(月)

14日間の冬休みは、「生き抜く力」を伸ばすチャンス。困難に立ち向かっていく人に。

生徒代表2学期の反省では、「級長として合唱コンクールを頑張ったこと」「CRSで人に自分の考えを勇気を出して伝えたこと」「後悔したくないという思いで、合唱コンクールに努力したこと」等について、堂々と発表しました。



- #### 2学期終業式
- ・開式のことば
  - ・生徒代表2学期の反省
  - ・校長式辞
  - ・校歌合唱
  - ・閉式のことば

生徒代表2学期の反省を聞いて、生徒が人間的に一回り大きく成長していることに幸せを感じました。校長式辞として次の話をしました。

おはようございます。今年の日本を振り返ってみると、流行語大賞は、2019年「ONE TEAM」、昨年は「そだねー」でした。2020年はどんな言葉が流行するでしょう。今年の漢字は、2019年「令」、昨年「災」2020年は、どんな漢字になるでしょう。

さて、額田中学校では、生徒会テーマは、2019年「我ら額田のチャレンジャー」、昨年「いいじゃん！ 額中」2020年はオリンピック イヤーです。1年・2年生は、2020年度、どんな生徒会テーマにするのか。今のうちから考えておいてください。額田中の今年の漢字は、「鍛」、昨年「花」、2020年の額田中学校の今年の漢字を何にするのかは、3学期始業式の1月7日に発表します。

2学期は、「我ら額田のチャレンジャー」を合言葉に、奇跡的な天気にも恵まれた体育大会、連合合唱に挑戦した文化祭、どちらも大成功でした。そして、12月18日は、ONE TEAM となった校内マラソン大会でした。選手の力走、最後まで一生懸命に応援する姿に感動しました。

いよいよ、明日12月24日(火)から1月6日(月)までの14日間の冬休みが始まります。中学校時代は、「生き抜く力」(確かな学力・豊かな心・健やかな体)が一番伸びる時です。今、さぼったら、これからの自分の人生を台無しにしてしまいます。「生きる力」を伸ばすために、次の二つのことを意識してください。一つ目は、伸びる人の条件「努素心専」です。「努力」「素直」「心が遣える」「一生懸命」です。二つ目は「人の支え」です。困ったら、「教えてください」と頼りになる人をお願いする。「ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えることです。人の支えに感謝できる人、人を支えることができる人になってください。

「雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん」を胸に苦しいことから逃げずに、困難に立ち向かっていく人になってください。苦しい時ほど、伸びるチャンス。ピンチはチャンスです。

1月8日(水)1年、2年、3年も岡崎学力検査があります。冬休みの学習の成果を見せるテストです。冬休みの14日間、実力をアップさせるチャンスです。

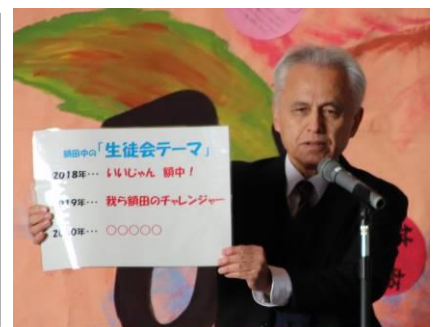
最後に CRS で、2020年、額中の自慢をもっと増やしましょう。1月7日(火)の3学期始業式に、全校生徒198名が元気よく登校しましょう。



2020年の額中の「今年の漢字」は、どんな漢字にするかを考えておいてください。

2020年度の額田中学校の生徒会テーマをどんな願いをこめるのかを考えてください。

2020年は、東京オリンピック、パラリンピックの年。額中第2期黄金時代を築きましょう。



## 寮生は帰省バスで 冬休みは自宅で生活 12月23日(月) 令和2年1月7日(火)帰寮バスで、3学期のスタート



12月23日(月)、Y教頭先生が寮生に2019年最後の話をしました。先生方は2020年1月7日の再会を願って、寮生の帰省バスを見送りました。

## 第14回東海地区中学生弓道選手権大会 12月22日(日)

額田中学校 弓道部女子:予選通過 決勝トーナメント進出 ベスト8 (於 日本ガイシスポーツプラザ弓道場)



12月22日(日)、日本ガイシスポーツプラザ弓道場で第14回東海地区中学生弓道選手権大会が開催されました。愛知県から7校、静岡県から2校、岐阜県から2校、三重県から1校の計12校が各県の代表として参加しました。額田中学校弓道部女子は、10月27日の県大会で第2位となり、東海大会の出場権を獲得しました。

予選では、団体戦メンバー3名が一人4本ずつ2回の24射の的中数で順位をつけ、上位8校が予選通過でした。額中女子は、1立目の12射のうち2本的中で9位、2立目の3回目までで1本の中、計3本の中。4回目に3人ともの中しないと、計6本の中、8位にならない状況でした。ここで、**3人ともの中させ、計6本の中、8位になりました。**

10月27日の愛知県大会では、予選24射中11本の中でした。今回、2本の中、会場の雰囲気になれず、緊張感のため、力を出し切れませんでした。しかし、最後の3射で3人ともの中させ、予選突破を勝ち取ったのは立派でした。

何とか8位で予選通過、決勝トーナメント1回戦は、12射のうち額田中4-5三重県代表に惜敗。一人4射のうち3回目までが4-4の状況で、4回目の3射勝負となり、三重県代表が1本の中、額田中は0本のため4-5の惜敗。予選では、この状況で3本の中でした。決勝トーナメントでも予選のような中であれば、逆転勝利でした。選手は「あと1本」の大切を痛感し、悔し涙を流しました。最終的には、優勝(豊田市立末野原中:県大会3位)、2位(豊川市立中部中:県大会1位)、3位(豊川市立西部中:県大会5位)、3位(三重県代表校)と、愛知県勢の活躍が目立ちました。額田中学校の入賞も十分可能性がありました。

弓道部女子の東海大会ベスト8は、額中の他の部活の刺激となり、よい影響を与えると信じています。

## 2学期終業式の午後に研修会 12月22日(日)

研究全体会(13:15~13:45)、論文自主研修会(14:00~15:00)



N研究主任から研究のまとめ方の説明



H教頭先生から論文の書き方についての研修会

12月23日(月)の2学期終業式の午後、研究全体会(13:15~13:45)、論文自主研修会(14:00~15:00)を実施しました。終業式では、生徒に14日間の冬休みは、実力アップのチャンスと話しました。教職員にとっては、14日間は2学期の研究授業をまとめる時です。この努力が、令和2年度の研究発表会につながっていくと思います。